

立命館法學

2019年 第3号

論 説

- 計画確定決定の衡量統制に関する一考察（1）…………湊二郎…(1)
 ——衡量の瑕疵とその有意性——
- EUにおける納税者の権利保護の調和…………望月爾…(38)
 ——「EU納税者法のモデルのための指針」の紹介を中心に——
- 危惧感説と具体的予見可能性説の異同再論…………松宮孝明…(78)
 ——長野地松本支判平成31・3・25平成26年(わ)第260号を素材として——
- 大逆罪における「加ヘントシタ」と謀議論…………市川啓…(94)
- 自己負罪型司法取引の
 量刑格差問題についての研究（1）…………清水拓磨…(142)
- 預金債権の準共有〔序説〕…………岸本雄次郎…(204)
 ——誤振込事例と信託を素材として——
- 民法724条の「不法行為の時」の解釈基準と
 「損害の性質」に着目した不法行為類型…………松本克美…(242)
- 婚姻法の再定位：フランス民法典の変遷から（3）…松本薰子…(277)
- 中国経済支援と
 アフリカ戦略資源国家の展開する関係…………西村めぐみ…(337)
 ——「主体」としての市民——

判 例 研 究

刑事判例研究24

- 作為態様の中止には、結果発生防止に必要かつ適切な措置を講じることが
 求められるとして、中止未遂の成立を否定した
 一事例（札幌高判平成30・10・1判例集未登載）…刑事判例研究会…(360)
 金澤真理

研 究 ノ ト

- ドイツ民法典における遺言錯誤規定の生成（3・完）…中谷崇…(381)
 ポスト道州制の地域振興政策…………村上弘…(424)
 ——道州制は、府県広域連合の夢を見るか？——

資 料

- ミヒヤエル・フェルスター
 不法に仕えた法律家（2）…………本田稔（訳）…(475)
 元帝国司法省事務次官フランツ・シュレーゲルベルガー
 (1876-1970年)の生涯と業績